

豊かな緑と共に暮らす 眺めの良いコモンテラスあり！

●コレクティブハウス聖蹟

ワンルーム30㎡+コモンスペース 家賃 91,000円/月

所在地：多摩市関戸4丁目

最寄駅：京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅より 徒歩5分

共益費など：＜組合費(会費)＞ 9,900円/月 (一人住戸)

＜組合出資金＞ 250,000円 (一人あたり) ※退去時返還

居住人数：30名程度 (大人+子ども)

※共用部分：コモンスペース (リビング、ダイニング、キッチン) ロフト、ランドリー、ウッドデッキ、地上庭、屋上菜園

※付帯施設：トランクルーム12戸、駐車場、共用倉庫



庭と屋上菜園が自慢。季節のうつろいを楽しめる緑豊かなハウスです。お散歩も楽しめる大栗川沿いにあります。現在0歳から70代まで、大人23名、子ども9名が暮らしています。



平面図

その他の空室情報はこちら



投稿コーナー

【印象に残った旅先①】 随分前にチベットに行きました。その時、知り合った女の子のお家にお邪魔した帰り、放牧されていた牛が牛舎に帰る群れに遭遇。迫力でした。(mityo)



【印象に残った旅先②】 富山県の北アルプスにある標高2450メートルの立山室堂高原です。この高原は、ご存じ立山黒部アルペンルートの最高地点で、周囲は北アルプスの山々が連なり、いくつもの池と草原が広がり、まさに桃源郷。この風景と初めて出会ったのは高校生の頃。この美しい自然が作り出す魅力に惹かれ、その後も何度となく訪れています。

今年はお餅をいただきますよ〜♪  
12月29日(土)

もちつき&芋煮会

これからカフェの餅つきと言えば... 大河原さん！今年も見事な白いの手をして下さいませ！そして石臼の音も聞かせたい！山形のごだわりの芋煮は毎回好評〜アツアツと聞くとワクワクします。お早めにお越しください。お餅を入れて食べても美味しいですよー餅つきも楽しんでください。

2018/12/29(土) 12:00~16:00 コレクティブハウス聖蹟

お食事	おもち、ゆず、ごち、あんかけなど	¥1100~
お飲み物	芋煮、おつまみ など	¥300~
お着物	日本風、ビオウイグ、ビートル、コート、ジューズ など	¥50~

お問合せ: colle-kara@googlegroups.com

居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ

スガモフラット  
http://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/  
コレクティブハウス聖蹟  
http://chcseiseki.blog60.fc2.com/  
コレクティブハウス大泉学園  
http://blog.livedoor.jp/ch4\_oizumi/

お知らせ

居住希望者の会 定例会開催中

居住希望者の会は、コレクティブハウスを作りたいと考えている会員の集まりです。ここでは、主にコレクティブハウスの暮らしを通じて、自分がどんな暮らしがしたいかを月1回の定例会で話し合い、新しいハウスの実現に向けて活動しています。

目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



Facebookページも公開中!

※事前に事務局までご一報ください。  
TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp

発行 / NPOコレクティブハウジング社 (CHC) ホームページ <http://www.chc.or.jp/>  
〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アビタメジロ302  
TEL: 03-5906-5340 FAX: 03-5906-5341 E-mail: info@chc.or.jp

これこれ新聞 vol.27  
定価200円 (税込)  
定期購読2,000円 (年間/送料別)

もっと知りたい! コレクティブハウスのあれコレ

2018年11月25日 第27号

隔月刊 CHC **これこれ新聞**

[リレー連載] コレクティブハウスとは:  
誰人間の伝統的な暮らしの現代版。新しうに見えるが、歴史的に繰り返されてきた暮らし方のひとつのバージョン。課題や困難への耐性は高い。(編集部)

スガモフラット 10周年! 記念イベント「地域の方への感謝の会」レポート

2018年9月2日、スガモフラットにて開かれた「地域の方への感謝の会」。スガモフラットの居住者の皆さんが10余年の間についできた地域の皆さんとの関係を垣間見ることができ、とてもすてきな体験をしました。



地域人の底力・気さくな歓談力を味わう

久しぶりに表参道から雑司ヶ谷を経て都電荒川線(都営さくらトラム)新庚申塚、懐かしい経路で小さな旅の気分でした。さて、スガモフラットの長い階段を上がると、すでににぎやかな声。さっそく、案内されたにぎやかなテーブルへ参加。地域の町会長、副町会長、民生委員、最近転居した西澤さんやスガモフラットの人たち。西澤さんは、近くに住んでスガモフラットと交流を続けているという。私も皆さんの話題に加わって、初対面の割には一瞬にして!地域デビュー。町会長はここにきて初

めてスガモフラットの疑問が解けた!と高らかに笑い、住人の大島さんや宮本さんが町会に参加してくれることは実にうれしいと安心を語った。民生委員は、地域の集まりは高齢者ばかり! 若者の参加がほしいという。話を聞くにつけ連携できそうな課題がたくさん。早速交流を!などとその場の雰囲気ではしゃべると、双方ウェルカムの感じ。意外なほどみなさん素直に「オーそだねー! いいね!」と盛り上がった。(2面に続く)

CHC 活動報告 「京都版コレクティブハウス」プロジェクト進行中!

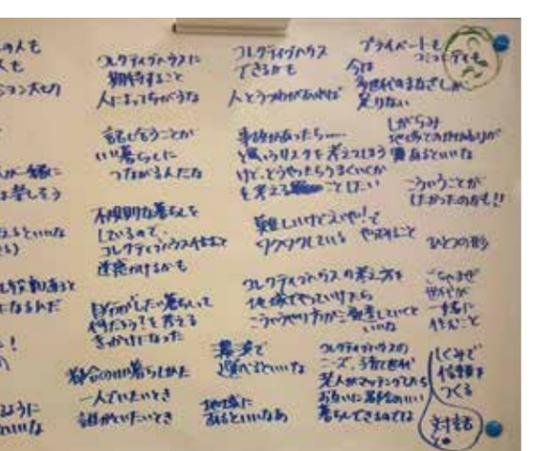
今年度、CHCでは、京都府の依頼で『京都版コレクティブハウス』をつくるための支援プロジェクトに取り組んでいます。2016年に京都府の少



子化対策課(現在は子ども総合対策課)の課長である今里美里さんから「京都の少子化を止めるためには、安心して子育てができる環境整備と女性が結婚や子育てをしていても仕事を続けていける環境整備が最も重要で、そのためにはコレクティブハウスのような助け合うコミュニティの存在する住まいが最も必要なものと思うので、ぜひ京都にもコレクティブハウスをつくりたい」というお話があって始まりました。

CHCとしては、コレクティブハウスを『少子化を止める安心できる子育て環境、女性の社会進出を支援する安心や豊かさを持つ住まい』と捉えていただけたことは、「コレクティブハウスの価値そのもの」を認めていただけたということで大変嬉しいことです。多くの若い世代の希望となるためにもぜひ京都での実現を果たしたいと思っています。

現在、「コレクティブハウスを知り暮らしを考えてみよう」という府民向けのセミナーを開催し、東京からもコレクティブハウス居住者やCHCメンバーが協力しています。皆さんも関西のお知り合いなどに、ぜひお知らせください。(PJM 宮前)



10 / 6京都市でのセミナー後の参加者感想

スガモフラット10周年!レポート (続き)  
地域に開く大事さ・人の多様性に学ぶ

次のテーブルはスガモフラットの子どもたちが通う小学校の門脇校長、同校PTAの御代会長など、こちらにもぎやかに歓談中。庚申塚駅の“ばたもち”がおいしかったという、御代会長はその隣で居酒屋を営んでいるという。地域でも人気らしい。行ってみたい。門脇校長は海外派遣の経験の持ち主。スガモフラットは学校運営に役立つ要素がたくさんあるという。また小学校の



場所活用を助言されたこともおおいに参考にしたい。

私が到着したのはどうやら歓談のころ、すでに暮らしの紹介、ハウス見学、居住者自己紹介などが終わった終盤だったので、ゲストの皆さんも

和気あいあいとして、まことにいい雰囲気。コレクティブハウス聖蹟事業主の小林さんもゲスト。小林さんのような事業主がたくさんいればいいな—と思っていたのでハイタッチしてしまった。

さて、締め。地域のゲストの皆さんのかっこいい!あいさつに歓心感心。帰りがけにママチャリのPTA、御代会長が駅への道順を教えてくださいました。ほのぼのとしたい風景。人の多様性の豊かさを瞬時に学び、地域は大事と再享受。うきうき♪とかつ大急ぎで“介護5”という新体験!新発見!の自場へ。楽しい1日でした。(監事:渡邊喜代美)



公開雑談、いよいよ最後となりました。話は教育に展開していきます。(以下敬称略)

“暮らす”にまつわる公開雑談 ヒゲプロさんの巻 その3

教育の場

梶浦: 豊島区の雑司が谷にプレイパークって活動があるんですが、そもそも、なんでプレイパークが必要かっていうと、承諾を取って遊ばないと危険だって、悲しいところからきている発想なわけです。こうでもしないと、自由に遊べないのかってくらい、今は、インドアになってしまっているの、おっしゃったように、子供たちが社会で学ぶ機会がない。最近、「みんなの」っていう表題のエリアづくりが多いですよね。コレクティブハウスもまさにそうですね。「みんなのうち」。あれってすごく大事だと思うんです。そういうのが教育の場所になる。

狩野: 親といってもいろいろな“大人”がいるので、親だけを子供の保護者だと見てみないふりをするのでなく、周りの、親じゃない大人たちがきちっと関わっていくというのが、重要だと思いますし、街の中でいろいろな体験ができるような楽しさと寛容さを生み出せると良いですよね。自分の子供は責任を持って面倒見ると言われ、それなのに、子どもを叱らないことばかり強調されて、それでは親は苦しくなっちゃいますよね。

梶浦: そういうの多いですね。さっきのわかりやすい話じゃないけど、ストレスを軽減するためにあれこれ考えすぎてストレス過多になるという。

狩野: 多分、あまりにも身体性ってものから、かけ離れすぎて頭でばかり考えることが多くなってきているんじゃないでしょうか。コレクティ

イベントのご案内

★毎月第3日曜は  
これこれシネマの日!

毎月第3日曜の13:30~、これこれシネマと称してドキュメンタリー映画の上映会を開催しています。

場所はCHC目白事務所。毎回、上映後は映画の感想から発展し、いろいろな内容の話し合いになります。

私達には知らないことがたくさんあります。今、この時にも、世界はいろいろなことが、起こっています。映画を通し、時間を共有し話し合いませんか? 皆様のご参加をお待ちしております。

◆お問い合わせは [collecollego@gmail.com](mailto:collecollego@gmail.com) まで



CHCの活動 (9月~11月)

- 9/1(日) スガモフラット10周年記念イベント参加
- 9/6(木)、10/11(木)、11/7(水) 豊島区居住支援協議会事務局会議 出席
- 9/11(火) 14-16 東京都居住支援協議会 幹事会出席
- 9/13(木) 国交省「重層的住宅セーフティネット構築支援事業」採択、事業開始

居住者☆通信

コレクティブハウス元総社 commons より

私は元総社町で生まれ育ち、現在は元総社 commons で一人暮らしをしています。この辺りは前橋市街地や高崎市内へのアクセスがよく、前橋インターからはわずか3分で着立地の良さで、どこへ行くにも車があれば便利です。

今から3年前に私は元総社 commons に引っ越してきました。バリアフリー住宅はとても快適で、住み心地に大満足しています。移動スーパーも週6日来てくれるため、買い物も大変ありがたいです。

また、保育所や高齢者施設が敷地内にある多機能住宅は、住んでいて楽しいです。先日は、デイサービスの方が焼き芋をしていたので作り方を教えてもらいました。毎朝、早くから窓拭きをして元気に挨拶してくれる保育士さんの姿は、いつも私にパワーを与えてくれます。

毎年秋には元総社公社賃貸住宅の「ふれあい祭り」があり、

今年もウクレレ演奏や野菜の販売会など大盛況でした。

今の暮らしの楽しみは、コモンルームで子どもたちと長縄とびをすること。夢は世界一周に行くことです。38歳で看護学校に入学したので勉強も実習も大変ですが、たくさんの人と触れ合いながら、これからも元総社 commons で暮らして楽しみたいと思います。(元総社 commons 住人 S)



ふれあい祭り



コモンルームで子どもたちと

- 9/22(土) 18-21 京都版コレクティブハウスセミナー (1) 「おもしろ暮らしBar」南丹市「コミュニティカフェ&ギャラリー Coco Can」にて開催。「にぎわう語りバ」主催、コレクティブハウス聖蹟と動画中継
- 10/6(土) 13:30-16:30 京都版コレクティブハウスセミナー (2)
- 11/12(月) 18:30-21:30 京都版コレクティブハウスセミナー (3) 「あたらしい? なつかしい? コレクティブハウスという暮らしかた」京都市「mumokuteki」にて開催。

- 「ときどき家族プロジェクト京都」主催、CH聖蹟矢田浩明さん、スガモフラット大島由起雄さんがスピーカーとして参加。
- 10/11(木) 9-11 独居老人等の支援を行っている行政機関職員研修としてCH聖蹟を視察。
- 10/29(月) 14-16 東京都居住支援協議会セミナー相談ブース出席
- 11/3(土) 14-16 理事宮前が日本女子大学住居の会『秋の交流会』にて卒業生として現在の仕事やこれからについて、コレクティブハウジングについてパネリストとして発言。

陳腐化しないデザイン。

狩野: 私は建築設計をやっていたのですが、今でも建築って何だろうと思うことがあります。いろいろな人が、入れ替わり住んだり使っていくわけなので、自分達で手をかけて、自分達で彩って運営できる空間を作ることが大切だと思います。偏った主張ばかりの建築では、それこそ、誰のためのモノかわからなくなってしまいます。「誰のため」に「何をしない」って非常に重要だと思います。

梶浦: 重要ですね。将来的には豊島手作り装飾社みたいな事業体をやりたいなと思っていて。グラフィックな部分と建築の部分とくっつけられないかなと。そして、街づくりも加わって。

狩野: そこに人の営みが入ったら、とても、面白いですね。

梶浦: メディアと、クリエイティブと建築とエリアづくり。

狩野: みんなが暮らしを潤いのあるものにしていくって、クリエイティブな日常の面白みに気付くことができる。

梶浦: ワークショップをやっていると子供に気付かされるんですね。天才なんですよ。本当に。

狩野: だから、萎縮させちゃだめなんですよ。この春、大学で特別講義をやらせてもらったんですけど、大学もやらねばならないことに縛られて新たなプログラムを生み出す事が大変なようです。

梶浦: まあ、役所と同じで、ある種、それを変革しようとするパワーと、それはもうあきらめて新しい場を作るっていうのと、どっちが労力少なくて済むかですよ。

都市開発はされるってことはしょうがないものとして、高層ビルが建っちゃうってこともしょうがないものとして、その中でどうコミュニケー

ションできるか、人間の尺度として街づくりをしていくか、諦めているんだけど、諦めない。

狩野: 諦めてたまるものかと思うからNPOをやってるんですね。

梶浦: NPOってイデオロギストとか、ファンダメンタリストの集まりだと思っていたんですけども、本当にそういう意味だと、ニュートラルじゃないとやってられないですね。

狩野: 「これがいいでしょ」っていう、概念とか、価値観を言い続けることは、陥りやすい危険もあります。でも、多くの人に役に立つと思うので、知ってもらいたいし、伝えていきたいんです。

阿部: そういう時に、デザインってものが生きてくるんですね。

梶浦: そうですね。コミュニケーションデザインって、どんな新しいデザインかと思いきや、自分たちで新しく作り出さなければいけないんですね。

※ ※

“暮らす”にまつわる公開雑談第二弾のゲストはこれこれ君を誕生させてくださった、有限会社ヒゲプロを運営しているらっしゃる梶浦孝博さんでした。ご活躍はWebサイト <http://higepro.jp/> で。



オフィスでの梶浦さんです